

縣議野崎氏令弟 肩骨を折る

縣會議員野崎滿藏氏令弟野崎喜八郎氏は十三日午前一時頃平町田町の同家自動車庫から客と共に乗車し將に發車せんとする際に誤つて車輪に觸れて昏倒し肩骨を折つたので早速南町上田醫院に搬送され目下手當中である。

西洋料理の拵方

イワキ食堂主 森川泰一郎

昨年講習いたしました課目は以上で了りましたから今少し紙面を拜借して時節物の牡蠣料理を御紹介いたします。
牡蠣は歐米では非常に贅澤な食料品で、中流以下の家庭では毎日食ふことが出来ないといふはれて居ります。値段も一個拾錢内外もするので一寸手がつかないのだと云うて、それだけ營養分がありまして鶏卵一個と比較すると遙かに多いと云はれて居ります。
歐米を漫遊した人が米國や佛國のレストランで日本の牡蠣を食ふつと、幾度も幾度も注文して、いざ會計と云ふ段取りになつて目の玉の飛び出る様な金銭を取られ二度と再び牡蠣などは、くふものでないといふ話と云ふ話があります。
レストランで御客に出すものは、肉の量、大きさが揃つて居りますから品物に依りますと値段が違ふのであります。
(ル)フライド・オインター
材料十人前に付
牡蠣 大四十個
ランド 百 夕
パン粉 百 夕

メレンゲ粉 三十個
鶏卵 三 個
牛乳 五 個
馬鈴薯 中五個
油(生レモ代用)
鹽、胡椒 少々
大粒のカキ一人前四個位を、箸に入れ沸水の中ですく水洗ひをして水気を切り、布巾の上に取り再び水気をよく取り鹽、胡椒をふり、メレンゲ粉をまぶし、玉子三個を別の容器に割り入れよくほぐし、牛乳五勺を入れてよく攪拌したものをつけ、其上にパン粉をまぶし、よく落付け、ランドをフライパンに煮立たせた中に入れて揚げ、新聞紙の上に取り油を切つて皿に盛ります(此項續く)

鳥御料理
蒲焼
平町南町平館隣り
電話四二四番

平町紺屋町
吉田眼科
電話六八番

チクノール 鼻の薬
平五 山野邊藥局

外科専門

診療科目
花柳病科
柳病科
診察時間(午前八時より午後九時まで)
但し急患は此の限にあらず

入院隨意
安齋外科醫院
平町田町大通り(電話四三六番)

治淋新劑
強アインチゴ
急性淋病、慢性淋病、消渴、膀胱炎等ニ用ヒテ偉大ノ卓効ヲ奏ス
平町一丁目(電話六四二番)

特約販賣店 大平屋藥店

大學脱腸帶
大學ち押へ帶
代理店 平町四丁目 小野屋藥舖
電話一四四番

印刷物は 加納活版所

クノ一散 定價(二十錢三十圓)
一本劑は神経系の鎮痛強壯内服薬として薬化學的に成功せる新劑なり。
一、故に歯痛、頭痛、神経痛、リウマチス等の神経系の諸症、偉大なる効を奏す、直ちに試みよ。
一、善は急げ、試験はタツタ五分間。
一、當地方信用ある各藥局各藥店に特約販賣せり。
特約店 平町五丁目 山野邊藥局

耳鼻咽喉科専門
平町仲田町七一

新築場所 合津醫院
電話五九五番

内臓外科専門
骨關節外科専門
整形外科専門
藤本順

産婦人科
木村寅次郎
平町新川町(電話二六四)

木村醫院

外科
花柳病科
平町六丁目橋際
木村外科醫院
電話三〇九番

ツルヤ商店の
七五三御祝子供デー
洋服 ラシャオーバー
マント各種 襟巻
帽子 子チヨツキ
色々陳列致しましたからどうぞ御覽下さい
平町 電話四
ツルヤ商店

和洋銅鐵
釜屋商店
磐城セメント會社特約店
金物問屋
磐城平 電話一九三九番

謝恩大興行
第三回
松竹キネマ社特々作品 ▲原作監督志波西果
七演阪東妻三郎、森静子
時、幕末の頃京洛中の夜は更けて東山三十六客靜かに眠る……忽ち深き静寂を破る劍戟の音……
▲大日活超特作映畫 ▲原作村上浪六 ▲監督辻吉郎
▲河部五郎、櫻木梅子、尾上多見太郎
元祿 妙法院 勘八
▲元祿快舉、義上の處刑、情義を楯に仁侠の及を振ひ、天を仰いで大地を踏む俠……
▲大日活超々特作大映畫 ▲原作西池春之介
▲監督清瀬英次郎 ▲大河内傳次郎、澤村春子、葛木香一
▲捕物帳の内 劍
▲關の目黒に閃光……辻斬だ……辻斬だ……御用……
十三日より 普通席 金十錢 平 館 電話四六六

一葉印刷所